

『クリスマスをお祝いする理由』 '20/12/20(クリスマス礼拝)

聖書箇所: マタイ 2:1-6、ルカ 2:8-12、I ヨハネ 3:3-5、ルカ 23:32-34、他

皆さん、今日はようこそ、この八田西 CC のクリスマス礼拝にお越しくださいました。今年は、コロナ禍でありますので、例年のような「クリスマス会」は開催いたしません。しかし、巷では、例年通り、クリスマスのデコレーションがなされ、あちこちでクリスマスソングが流れています。でも…、そんな時期だからこそ、今日、ぜひ、皆さんと一緒に考えたいのは、「一体どうして、私たちは、2000年以上も前にお生まれになったイエス・キリストの誕生を祝うのか？」ということにあります。

命題: 2000 年前に生まれたイエス・キリストだけが持っておられた特徴とは？

この教会には、このイエス・キリストを信じる“信仰”を持って以降、その人生が大きく変えられたという人たちが大勢おられます。今日、私が訴えたいのは、もしも…、皆さんがクリスマスをお祝いする、その本当の理由を知ってくださったら…、間違いなく、皆さんの人生も変えられます！2000年前に生まれてきてくださったイエス様は、ご自身を信じる者たちの人生や生き方…、また、その価値観を大きく変えることができます。だから、イエス・キリストの誕生が、今もお祝いされているのです！

そこで、今日、私たちは、「じゃあ、2000年経っても、その誕生が祝われているイエス・キリストとは、一体どういった点が私たちと違っているのか？…あのイエス・キリストだけが持っておられた特徴」について、一緒に学んでいきたいと思えます。聖書のみことばは、特定の1ヶ所だけではなくて、ポイントポイントで、象徴的なみことばを一緒に観察していきたいと思えます。願わくは、今日、このメッセージを聴いてくださった皆さんが、このイエス・キリストを信じる信仰を持って、その後の人生を神様に祝福されたものとして、大きく変えられていくことを期待いたします…。

I・その誕生に関する 預言 ! (マタイ 2:1-6)

イエス・キリストだけが持っておられる特徴…。まず、それは、その誕生に関する“預言”であります…。一体、この世界のどこに…、生まれる何百年も前から預言をされて、その預言通り、生まれてきたような人間がいるでしょうか？どうぞ、まずは、イエス・キリストがお生まれになった直後のことが記されてある、マタイ伝 2:1-6 のみことばをご紹介します。そこには、こう記されてあります。

マタイ 2:1-6

- 1 イエスが、ヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東方の博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。
- 2 「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにおいでになりますか。私たちは、東のほうでその方の星を見たので、拝みにまいりました。」
- 3 それを聞いて、ヘロデ王は恐れ惑った。エルサレム中の人も王と同様であった。
- 4 そこで、王は、民の祭司長たち、学者たちをみな集めて、キリストはどこで生まれるのかと問いただした。
- 5 彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者によってこう書かれているからです。」
- 6 『ユダの地、ベツレヘム。あなたはユダを治める者たちの中で、決して一番小さくはない。わたしの民イスラエルを治める支配者が、あなたから出るのだから。』

今日は、時間の関係もあって、このみことばを詳しく観察していくことはできません。そこで、特に、このみことばで皆さんに注目していただきたい部分は、4節以降の部分です。ここで、今から2000年前、

時のユダヤの王であったヘロデが、東方から来た博士たちの質問を受けて、『キリストはどこで生まれるのか？』と問いただしたところ、学者たちが、『ユダヤのベツレヘムです』と答えます。…どうぞ、皆さん、この6節の最初に注目してください。このみことばは、鍵カッコ(＝二重鉤括弧)で始まっていますでしょ？これは、どこかからの引用だということなのです。

実は、この6節の部分は、旧約聖書のミカ書(5:2)という預言書に記されてある1節です。そのみことばは、何とイエス・キリストが生まれる700年も前に預言されていたみことばなのです！…700年も前に、預言者ミカは、「約束の救い主が、ユダヤのベツレヘムから生まれる！」ということを預言していて、何と、その預言通りに、生まれてきてくださったのが、あのイエス・キリストなのです！…いえ、この預言だけではありません。何と、約束の救い主に関しては、処女…、つまり、男を知らない女性から生まれるということも預言されてあります(イザヤ 7:14)。その他にも、救い主に関する預言は、細かいものまで合わせると、200以上もあると言われています。…確かに、この地上で、大きな功績を残して、歴史に、その名を刻んだ人物は数多くいます。しかし、このイエス・キリストというお方は、何と、生まれる前から、もう既に、特別な存在であったのです！

II・その 出生 ! (ルカ 2:8-12)

イエス・キリストだけが持っておられる特徴…。その2番目は、彼の“出生(しゅっしょう)”であります…。このお方がお生まれになった時、言い換えれば、「この世界で最初に起こったクリスマス」とも言い得る日のことが記されてある、ルカ伝 2:8-12をご紹介します。そこには、こうあります。

ルカ 2:8-12

- 8 さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。
- 9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。
- 10 御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。」
- 11 きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。
- 12 あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのためのしるしです。」

今読んだみことばをご覧くださいと、なんと、イエス・キリストが誕生された、まさにその日、『主の使い』…、つまり、天使が現われて、その誕生を知らせたというのです！しかも、それだけではなく！その天使は、イエス・キリストの母親であるマリヤや、その夫となるヨセフ、また、マリヤの親戚などにも現われて、「もうすぐ生まれる、その子は約束の救い主である！」ということを告げたのです！私たちが、何気なく口にする、「イエス・キリスト」という名前の、「キリスト」という部分は、苗字などではありません。簡単に言うと、これは「救い主」という意味…、言わば、称号なのです！

実は、私も、最初教会に来て…、すべてを造られた真の神様とか、約束の救い主が何百年も前から預言されていた、なんていう話を聞いて、「そんなバカな！」と思いました。しかし、よくよく、聖書のみことばを学んでみて…、そして、今、私たちが知っているような宇宙が存在していること…、あるいは、このような聖書のみことばが存在していることなどを併せて考えて…、「もしも、この世の中に、神が存在するならば、それは、この聖書が教える神だけだ！」という結論に至りました。確かに、この世の中に、なんとなく、感動を覚えるような…、あるいは、「もしも、そうであったら、自分にとって都合が良いな」と思うような教えは、数多くあります。しかし、この聖書のみことばは、私が30年以上も学んできて、「この教えはおかしい！ここに矛盾がある！これは間違っている！」と思うような教えは、一切、ありませんでした。いえ、それ

どころか、私が30年以上も学んできて、この聖書の教えは、ますます、私に、「これこそが真理だ！」という確信を増し加えてきてくれました。どうぞ、皆さんには、ぜひ、今日の1日だけではなくて…、引き続き、この教会に通ってきてくださって、この聖書のみことばを学んで…、この聖書が教える真の神様の偉大さ&その教えの深さなどについて、ご理解していただきたいと思います。

Ⅲ・その生涯！(Iヨハネ 3:3-5)

次は、このイエス・キリストだけが持っておられる特徴の3番目…、それは、彼の“生涯”です。イエス・キリストは、およそ33年間の人生を歩まれましたが、そこには、私たちとは決定的に違っていた部分が、幾つもありました。実は、そういったことを、よく知っていた、使徒ヨハネは、このように記してくれています。

Iヨハネ 3:3-5

- 3 キリストに対するこの望みをいなく者はみな、キリストが清くあられるように、自分を清くします。
- 4 罪を犯している者はみな、不法を行っているのです。罪とは律法に逆らうことなのです。
- 5 キリストが現れたのは罪を取り除くためであったことを、あなたがたは知っています。キリストには何の罪もありません。

今読んだみことばを通して、使徒ヨハネは、「このイエス・キリストには、ほんの少しの罪さえも無かったです！」ということを断言しています。キリストは、完全に『清くあられた』と、このヨハネは教えます。でも、果たして、そんなことが有り得るのでしょうか？

実は、このヨハネは、このことを書いている、少し前の個所で、このように教えています、『もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。』(Iヨハネ 1:8)って…。「例え、あなたが誰であろうと、私たちには、間違いなく、罪がある！」そうヨハネは訴えます！もしも、皆さんが、「いいえ、私には如何なる罪もありません！」と言うのなら、その人は、『自分を欺いている』＝「嘘つき」だと言うのです！確かに、それはよく分かります。ここにいる私たちの人間の誰一人、「自分は完全に清い人間だ！どこにもやましい部分はない！」と言い切れる人間はいないはず。聖書を見るとよく分かるのですが、この部分を書き記したヨハネは、特に、そういった罪に関しては、厳しい見方をするような…、そんな人物でした。

でも！そんなヨハネが言うのです！「イエス・キリストの内には、一切の罪が無かったです！」って…。彼は、イエス・キリストのことをよく知らなかったのでしょうか？⇒いいえ、このヨハネは3年もの間、イエス・キリストと一緒に居て…、それこそ、イエス様たちと寝食を共にしていたのです。でも、そんな彼が言うのです…、「イエス・キリストだけは、完全に清くあられた！罪が無い！このお方こそ、神であられた！」って…。

実は、このヨハネという人物は、その昔、魚を獲る漁師をしていました…。かつて、このヨハネは、『雷の子』(マルコ 3:17)と呼ばれるほど…、野心家で、気性の荒い面があったようです。それ故に、このヨハネは、イエス様から厳しく叱責されることもありましたが(ルカ 9:54-55)。しかし、そんなヨハネが、イエス・キリストによって変えられ、寛容で、謙遜な…、いえ、それ以上に、愛に満ち溢れた人物(Iヨハネの教え)へと変えられていったのです…。彼は、イエス・キリストの歩みと、イエス様が語られた教えによって、大きく変えられたのです！

いえ、このヨハネだけではありません。この聖書を見てみると、イエス様の弟子たちはもちろん、イエス様を信じた者たちは皆、大きく変えられていきました！皆さん、ご存じですか？…この後で、クリスチャンたちは、あのローマ帝国から、とんでもない迫害を受けて、何万、いえ、何十万ものクリスチャンが、その迫害によって命を落としていったのです。…しかし、迫害すればするほど、多くの殉教者が出れば出るほど、

当時のローマ帝国内には、多くのクリスチャンたちが増えていって…、それでとうとう、そのローマ帝国が、キリスト教を公認するまでになるのです！だから、今、あのローマが、カトリックの総本山のような場所になっているわけでしょう？…このように、皆さんだって、イエス・キリストをお信じになられたら、絶対に変えられます！そのように、イエス様には…、真の神様には、私たちのことを変える力があるのです！

Ⅳ・イエス・キリストの死！(ルカ 23:32-34)

イエス・キリストだけが持っておられる特徴…。その1番、際立ったものは、その“死”でしょう…。イエス・キリストは、皆さんもご存じのように、「十字架刑」という、死刑で亡くなったのです。そのことは、聖書の中で何度も教えられてありますので、その…、ほんの一部分だけをご紹介しますと思います。

ルカ 23:32-34

- 32 ほかにふたりの犯罪人が、イエスとともに死刑にされるために、引かれて行った。
- 33 「どくろ」と呼ばれている所に来ると、そこで彼らは、イエスと犯罪人とを十字架につけた。犯罪人のひとりには右に、ひとりには左に。
- 34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。

皆さん、聞いてくださいました？なんと、イエス・キリストは、自分のことを十字架刑に追いやった者たちのために祈り…、彼らのことを赦されたのです！ひょっとしたら、皆さんの中には、イエス・キリストが十字架に磔になられたのは、何かそれ相応の理由(犯罪行為?)があったのだらうと考えておられる方がいらっしゃるかも知れません。しかし、そうではありません！イエス・キリストは、自ら進んで、あの十字架へと向かっていかれたのです。

確かに、見方を変えると、イエス様は、当時の律法学者やパリサイ人たちから十字架に追いやられたように見えるかも知れません。しかし、そんな中であって、イエス・キリストは、何とおっしゃいました？イエス様は、『彼らをお赦しください。』と言われたのです！何と、自分のことを十字架へと追いやった者たちの赦しを願われたのです！だから、このイエス・キリストのことを信じ、クリスチャンとされた私たちも同じように、人を赦そうとするのです。…ところで、皆さんは、誰か「赦せない人」っていらっしゃる？もしも、あなたが、このイエス・キリストを信じるなら、あなたは、どんな人物でも赦すことができるようになっていきます！「あの人を赦せない！こんな悪が我慢できない！」という憎しみや思いから、私たちが解放されていくのです。

実に、こういったことのために、イエス・キリストは、この世に来られ、多くの教えをなし、十字架にかかられました…。それは、何より、皆さんの罪を赦すためでありました。神のことばである、聖書は教えます、『血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはない』(ヘブル 9:22)って…。この場合、『血』とは、いのちを指します。あなたが、これまでに犯してきた罪の清算をするには、あなたが、自らのいのちを犠牲にする必要があったのです。つまり、その罪の罰として、永遠の滅び(=苦しみ)に至らなければならなかったのです！あなたの内にある自己中心…、時には嘘をついたり、人を裏切ったりしても良いとする利己主義…、勝手な理由をつけて必要なことをしようとしない怠惰…、神様を無視しようとする傲慢さ…、あなた内に潜む、そのような罪すべてを、天の神様は、よく御存じなのです。

全てを御存じの、聖い神様は、間違いなく、あなたの罪を裁かれます。どんなに、あなたが面倒なことや嫌なことから目を背けようとしても、全く無駄なこと。私たち日本人のダメなところは、そういったことを「縁起が悪い！」と言って、自分たちに都合の悪いことを真剣に考えようとしない傾向にあることです。

…でも、幾ら、私たちがそういったことから目を背けても、いつか必ず、神様の前に犯してきた罪の清算をしないといけない時が来るのです！その時になってから、「ああ、そうだったのか…」と気付いても、もう遅いのです！

だから、イエス様は、あなたの身代わりに、ご自分のいのちを犠牲にして、自ら進んで、あの十字架にかかってくださったのです！本当なら、あの十字架で、最高の苦しみを味わわなければならなかったのは、私やあなたなのです！…と言うのも、罪を犯したのは、イエス様ではなく…、私や皆さんであるからです。イエス・キリストは、自分の犯した過ちなどではなく、私やあなたの罪を背負って、あの十字架にかかってくださいました…。果たして、そんなお方が、このイエス・キリスト以外にいますでしょうか？

V・十字架の死からの復活！(ヨハネ 20:24-29)

このイエス・キリストだけが持つておられる特徴の最後…、それは、十字架の死からの“復活”です。イエス・キリストは、私たちの罪のために、あの十字架上で死なれただけではありません。イエス様は、約束通り、その3日目によみがえられたのです！

ヨハネ 20:24-29

24 十二弟子のひとりで、デドモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたときに、彼らといっしょにいなかった。

25 それで、ほかの弟子たちが彼に「私たちは主を見た」と言った。しかし、トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見、私の指を釘のところに差し入れ、また私の手をそのわきに差し入れてみなければ、決して信じません」と言った。

26 八日後に、弟子たちはまた室内におり、トマスも彼らといっしょにいた。戸が閉じられていたが、イエスが来て、彼らの中に立って「平安があなたがたにあるように」と言われた。

27 それからトマスに言われた。「あなたの指をここに付けて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」

28 トマスは答えてイエスに言った。「私の主。私の神。」

29 イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」

このみことばを読んで分かる通り、イエス・キリストは、十字架上で死んで、それで終わりではありませんでした。その3日目に、約束通り、その死から、よみがえられたのです！そのことの証人は、イエス様を選んだ 12 人の弟子たちだけではありません。何と、何百人もの人が、イエス様の復活を目撃したのです！そのことを記念して…、今でも、毎週日曜日に、教会では礼拝が行なわれています。…と言いますのは、イエス・キリストがよみがえられたのが、日曜日の朝であったからです。

このイエス・キリストの誕生だけでなく、その死と復活とは、この聖書が1番に訴える内容です！何故なら、そこにこそ、この聖書の真実性があるからです。果たして、イエス・キリストは、本当によみがえられたのでしょうか？

実は、この1週間前、弟子たちが集まっていた時、そこに復活後のイエス様が現われてくださいました。しかし、そこには、弟子のトマスだけがありませんでした。だから、トマスだけは、イエス様の復活を信じるのができなかったのです。しかし、その1週間後、イエス様は、そのトマスの前にも現われてくださいました。だから、その後、トマスは、ここで告白しているように、「イエス・キリストこそ、真の神であられ、私の主です！」と言って、その後、彼はイエス・キリストの十字架と復活のメッセージを宣べ伝えていったのです。伝承では、このトマスは、インドにまで行って、イエス・キリストを信じる信仰による救いのメッセージを宣べ伝

えていったとされています。いえ、トマスだけではありません。イエス様を裏切ったイスカリオテを除いて、すべての弟子たちが、このイエス様の復活と、救いのメッセージを宣べ伝えていきました。だから今、世界中に、キリスト教会が点在しているのです！

今日、私たちは、一体なぜ、イエス様の誕生を世界中にお祝いするのか？その理由について学びました。イエス・キリストは、この人類史上、他に類を見ない特別なお方です！一体、このイエス様以外の誰が、その生まれる何百年も前から預言されていた人物がいるのでしょうか？果たして、この世界のどこに、生まれた時に天使が来て、その知らせを告げられたお方がいるのでしょうか？一体、この世の中のどこに、罪や汚れが無い…、完全な聖い人間がいるでしょうか？確かに、すべての人間は死を経験します。しかし、果たして、皆さんのために…、皆さんを罪の罰から救うために、その身代わりに死んで、よみがえってくださったようなお方が、このイエス様以外にいますでしょうか！

どうか、このイエス様を無視することなく…、願わくは、1日も早く、このお方を真の神、あなたのご主人様として、信じ受け入れてくださいますよう、心からお勧めいたします。最後に、お祈りをもって、今日のメッセージを終わらせていただきます。